

W7 サミット

主催：W7Japan 実行委員会/ SDGs 市民社会ネットワーク ジェンダーユニット

後援：オープン・ソサイエティ財団、内閣府男女共同参画局（予定）、外務省（予定）

日時：2023年4月16日（日）12:00 – 18:00（終了後交流会あり）

会場：浜離宮朝日ホール 小ホール

104-8011 東京都中央区築地5丁目3-2 朝日新聞東京本社 新館2階

<https://www.asahi-hall.jp/hamarikyu/>

言語：日英同時通訳有

日本語手話有

登録：<https://bit.ly/3Maqcqw>（対面・オンラインとも）

参加費：無料

プログラム（予定）

11:00-12:00	登録
12:00-13:00	開会挨拶（10分） セッション1（45分） テーマ：インターセクショナルリティとジェンダー フェミニズムのアジェンダを推進する上で見逃してはならないこととは？ <ul style="list-style-type: none"> ● 障害×女性 ● SOGI×女性 ● 紛争×女性 ● ユース×女性 ● 国籍×女性
13:00-13:30	小倉将信男女共同参画・女性活躍担当大臣 ご挨拶 ユースによる大臣インタビュー (写真撮影)
13:30-14:00	Coffee Break
14:00-15:00	セッション2 テーマ：エンゲージメントグループとのコラボレーション ジェンダー平等という共通のアジェンダを推進するために、どのように連携・協力していけるか 登壇グループ（予定）：C7、Y7、T7、L7、P7、B7、S7、W20
15:00-15:40	セッション3 テーマ：WGからの報告（1） WG1（10分） Women's Empowerment, Meaningful Participation, and Leadership WG2（10分） Economic Justice and Care Strategy 質疑応答・コメント（20分）
15:40-16:00	Coffee Break
16:00-16:40	セッション4 テーマ：WGからの報告（2） WG3（10分）

	<p>Bodily Autonomy and Self-Determination: Gender Based Violence (GBV), Sexual and Reproductive Health and Rights (SRHR), and Sexual Orientation, Gender Identity and Expression, Sex Characteristic (SOGIESC) WG4 (10分) Feminist Foreign Policy for Sustainability and Justice: Responses to Multiple Gendered Humanitarian Crises, and Women, Peace and Security</p> <p>質疑応答・コメント (20分)</p>
16:45-17:45	<p>セッション5 (最終) テーマ; アカウンタビリティの確保</p> <p>WG5 (15分) Accountability and Financing for Gender Equality</p> <p>パネルディスカッション/トーク (20分間) 今後の取り組み: G7 が説明責任を果たしていくために私たちができること WG1、2、3、4、5 から WG コーディネーターが登場</p> <p>質疑応答・コメント (20分)</p>
17:45-18:00	<p>閉会挨拶 参加者全員で集合写真撮影</p>
18:30 - 19:30	<p>参加者同士の交流 (朝日・読者ホール)</p>

参考: Women7 (W7) とは <https://women7.org>

G7 のプロセスの中での公式なエンゲージメントグループの一つであり、ジェンダー平等と女性の権利に関する提案を促進するために集まった市民社会組織のグループ。2018 年の G7 カナダから始まった W7 は、G7 国の市民社会組織メンバーをはじめ世界各国の活動家・団体らが参加している。G7 広島サミットに先がけ開催される 2023 年 W7 は、日本のジェンダー平等と女性の権利に取り組む市民社会組織を中心に実行委員会が設置され、アドバイザーは 38 カ国か 87 名が選出され、G7 の指導者たちが、あらゆる多様性を持つ女性・少女の人生に対して、持続的で変革的な影響を与えることができる具体的な政治的・財政的約束をするようにすることを求めるコミュニケ策定について議論を進めている。W7 サミットでは、コミュニケを G7 議長国である日本へ手交するほか、国内外からの参加者らと議論を深める予定である。

連絡先: W7 ジャパン事務局 w7japan2023@gmail.com